

奥白根山山行報告 (2,578m)

- 【山行日】** 2018年7月10日(日)晴れ
【集合】 下野道の駅駐車場 AM5:00
【費用】 マイカー：1,320円、日光やしおの湯 520円(65歳未満)
【メンバー】 CL:清水(敬)SL大町
大島、高木、前沢、横田、福村、飯田

【コースタイム】

下野道の駅駐車場 5:00＝菅沼P7:00～7:20→小休止→弥陀ガ池 9:15～9:30→山頂 11:00～12:00→
避難小屋 13:00～13:10→五色沼 13:25～13:30→峠 13:55～14:05→弥陀ガ池 14:15→
標識(弥陀ガ池まで2K) 14:25～14:30→登山口 15:45→やしおの湯 16:50～17:40＝
下野道の駅駐車場 19:10

白根山は、関東以北の最高峰で「100名山」でもあり、登山者にとっても人気のある山のようなので、男体山は毎日のようにその雄大な姿を目にして、校歌などで清き峰として詠われ、地元では親しまれています。それに対して、白根山は晩秋にいち早く雪をまとい冬の到来を知らせてくれますが、普段は白根山を目にすることはまれなので残念です。

登山ルートはいろいろ紹介されていますが、今回は夏山のトレーニングを兼ねた山行で、菅沼茶屋から頂上をめざし、避難小屋へ下り五色沼を迂回し、弥陀ガ池を経て登山口に戻るルートです。会の山行では一番馴染みのコースです。



茶店奥の駐車場は有料、料金は1千円也。3年前に比べだいぶ値上がりしていました。それでも早くから山に登る人が多いせいか私たちが到着した時には混でいたので、駐車スペースに空きは少なく、入り口から手前の空いたスペースに車を置くことにしました。

【菅沼駐車場】軽く準備体操をして駐車場を少し早めにスタート。最初の林道は、なだらかな上り、軽く足慣らしです。弥陀ガ池まではほぼ樹林帯の中を歩くこととなります。前日が雨で、登山道が滑りやすいことや、蒸して汗をかくことを少し心配していました。ところが空気が秋のよ

うにさわやかで、汗をかかずに登れそう。内心ほっとしました。

【弥陀ガ池まで】樹林帯の登山道をさらに登ります。ジグザクに続く坂道で、石や根っこが滑りやすいのでゆっくり目に歩きます。いつもは木が風を遮り蒸しますが、今日は本当に涼しく、登りには負担が随分と軽くなります。急な登りを何度も何度も繰り返します。

目の前に青空がのぞいてきてもうすぐ池に着くのを期待しますがなかなか着きません。道が平坦になると弥陀ガ池に着きました。日光キスゲを楽しみにしてきましたが、季節を過ぎたのか、どうも来るのが遅すぎたのか？

【頂上までの岩場等】池から頂上が青い空に映えてとても鮮やかに見えます。険しい岩の間を先行する登山者たちが列をなし登って行くのが見えます。私たちの行く手を遮り、まるで要塞のように聳えています。



ここから傾斜がきつくなります。ガレ場を越え、やれやれと思うと、呼吸を整える間もなく、今度は大きな岩場にかかります。ここでリーダーがめったに目にする事のないパノラマを見る時間をとってくれました。燧ヶ岳は手を伸ばせば掴めるほど近くに、駒ヶ岳も近くに見え、遠くの磐梯山などの名山が見事なパノラマのようです。しばしこの景観を楽しみ、息を整えました。



20年前の初めての登山がこの山で、その後も何度か登ったのですが、今回の山行にあたりその時の記録を読み返すと、やけに時間が掛かったような記録がありました。そして二度目もそれなりに難儀していました。今回は久しぶりの高い山で、それなりに準備して臨んだつもりでしたが、それでも高所になれるのに間を要しました。今回は、この一休みで最初の難所を乗り越えることができました。

【山頂まで】岩場を超え、やれやれと思う間もなく山頂かと思うと、だいぶ先に一段と高い大きな岩が見えます。いつも風に煽られここで衣類を重ね着したような気が

しましたが、今回はその強風もなくとてもしのぎやすかったです。ガレ、浮石に注意しながら高度を上げます。岩を何度か過ぎまもなく頂上かと思いましたが、思いのほか岩場が長いように思いました。そしてやっと頂上に着きました。

【山頂】頂上の展望は、これぞ360度の大パノラマ。絶筆の尽くしがたい見事なものでした。登り始めて20年目で初めて楽しむことができました。しかし山頂はこれも初めての経験とっていいくらいの混雑です。引きも切らない状態だったので、早々に次の広場に下りました。

【避難小屋まで】頂上を下った広場で昼食、ご飯もラーメンもとても美味しい。野菜、果物などをご馳走になり紅茶もご馳走になりました。

下りはチングルマやシャクナゲなどの高山植物を楽しみながらゆっくり下りました。避難小屋は休憩には岩場を下ってやれやれと現れます。とてもいい場所にあります。一つ付け加えるならバイオのトイレがあると助かります。これだけ人が増えると設置をしていただ



けると環境保護に貢献しますし、宿泊する際にも助かるでしょう。

【弥陀ガ池まで】五色沼を過ぎ弥陀ガ池までに一つピーク越えがあります。標高差100Mに満たない上りがなぜか大変でした。樹林帯で風がないこと、下りに体が慣れて急に登りになるせいかもしれません。立休みしながらやっとピークに到着し一息入れます。ここからは下りで今度は歩くのもだいぶ楽になります。

【登山口まで】約1時間。下りをゆっくり目に降りますが、それでも岩が滑りやすく感じたせいか、それとも木の根っこが気になったのか、大変に感じました。こ



んなに岩や木の根っこを気にして下山したのは今までにないことでした。

(追記) 帰りにやしおの湯で汗を流す。疲れた体を癒してくれました。

(記: 飯田)